

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

MPV-【BS】Rituximab 療法

2 週毎 コース予定

疾患名 中枢神経リンパ腫 (CNSL)

主治医 指導医 HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

《注射》		day1	day2	day3	day4	day5	day8
リツキシマブ BS	375 mg/m ²	↓					
メソトレキサート(メトトレキサート)	3500 mg/m ²		↓				
オンコビン(ビンクリスチン)	1.4 mg/m ² 【最高 2 mg】		↓				
《内服》※奇数コースのみ							
塩酸プロカルバジン(プロカルバジン)	100 mg/m ²		↓			↓
ロイコボリン(ホリナート)	21 mg/body/回						

- 【注意】 * リツキシマブ施行時は体温・脈拍・血圧測定・SpO2 測定は up 直前におこなうこと。
 * 一日の尿量が 3000 mL 以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。
 * 補液にメイロンを混注して尿をアルカリ化(pH≥7.0)する。
 * MTX 投与開始後 48 時間後・72 時間後の MTX 血中濃度が、それぞれ 1x10⁻⁶M 未満、1x10⁻⁷M 未満であることを確認し、どちらか一方でも超えた場合は、各々 1x10⁻⁶M 未満、1x10⁻⁷M 未満になるまで十分な水分の補給、尿のアルカリ化、ホリナートの増量や投与延長を行う。
 * プロカルバジン内服は奇数コースのみ使用。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1

【初回のみ】 * 初回投与は必ず入院で実施

① イブプロフェン(100mg) _____ 錠 デザレックス(5mg) _____ 錠 内服

☆30 分後より

② 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

③ リツキシマブ BS + 生食 適量 (10 倍希釈)

◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間で点滴静注

*注:総量 600 mL を超える時はテルモ生食1L を使用

- ④ 50 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
- ◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注
- ⑤ 100 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
- ◎ 輸液ポンプにて 150 mL/時間で点滴静注
- ⑥ 150 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
- ◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注
- ⑦ 200 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
- ◎ 輸液ポンプにて 250 mL/時間で点滴静注
- ⑧ 250 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
- ◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間で点滴静注
- ⑨ 300 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
- ◎ 輸液ポンプにて 350 mL/時間で点滴静注
- ⑩ 350 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
- ◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間で点滴静注

【2回目以降】 第1サイクルにおいて発現した有害事象が Grade 2 以下であった場合

- ① イブプロフェン(100 mg) _____錠 デザレックス(5 mg) _____錠 内服

☆30分後より

- ② 生食 500 mL にて血管確保 _____ 維持(20 mL/時間)
- ③ リツキシマブ BS _____ + 生食 適量 (10倍希釈)

◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注

*注:総量 600 mL を超える時はテルモ生食1Lを使用

- ④ 100 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
- ◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注
- ⑤ 200 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
- ◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間で点滴静注
- ⑥ 300 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
- ◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間で点滴静注

day 2～8

塩酸プロカルバジン

内服(奇数コースのみ)

day 2 抗がん薬投与 1 時間半前にイメンドカプセル(125 mg) 1C を内服

- | | |
|--|---------------------|
| ① 生食 500 mL にて血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② グラニセトロン内服ゼリー(2 mg) 1 包 | 内服 |
| ③ デキサメタゾン注 4.95 mg (1.5 mL) + 生食 20 mL | 側管静注 |
| ④ オンコビン + 生食 50 mL | 点滴静注 5 分(600 mL/時間) |
| ⑤ メソトレキセート + 生食 350 mL | 点滴静注 120 分 |

※生食 150 mL をバッグから前もって抜いておく

day 3～

- ① ロイコボリン 21 mg 静注

メソトレキセート投与開始 24 時間後より開始し、6 時間ごとに繰り返し静注する。
48、72 時間後に血中 MTX 濃度を測定する。

day 3, 4 イメンドカプセル(80 mg) 1C

- | | |
|-------------------------------------|--------------|
| ① 生食 500 mL にて血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② デキサメタゾン注 3.3 mg (1 mL) + 生食 20 mL | 側管静注 |

day 3～8

グラニセトロン内服ゼリー(2 mg) 1 包

内服(奇数コースのみ)

day 5 生食 500 mL にて血管確保

維持(20 mL/時間)

MPV-【BS】Rituximab 療法

コース目	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月日	/	/	/	/	/
リツキシマブ BS 開始時刻	:				
オンコピン 開始時刻		:			
メソトレキセート 開始時刻		:			
ロイコボリン 開始時刻			:	:	:
確認					

コース目	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月日	/	/	/	/	/
リツキシマブ BS 開始時刻	:				
オンコピン 開始時刻		:			
メソトレキセート 開始時刻		:			
ロイコボリン 開始時刻			:	:	:
確認					

コース目	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月日	/	/	/	/	/
リツキシマブ BS 開始時刻	:				
オンコピン 開始時刻		:			
メソトレキセート 開始時刻		:			
ロイコボリン 開始時刻			:	:	:
確認					